



# Business Report

## 第77期 事業報告書

2023年4月1日～2024年3月31日



代表取締役社長

曾谷 太

Futoshi Sotani

### 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第77期の営業の概況等をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、コロナ禍からの経済活動の正常化が進展し、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあり、国内景気は回復の兆しを見せ始めている一方、海外では各国での金融引き締めや、ウクライナ侵攻問題の長期化によるエネルギー・資源価格の大幅な上昇や、長期的な円安傾向、中東問題、中国の不動産不況などの影響から、当社グループの経営環境は、先行き不透明な状況が続くものと想定しております。

こうした状況下で当社グループは、引き続きグループの特長を生かした事業運

営とスピーディーな経営判断を心がけ、関係するグローバルな成長市場とともに、今後市場拡大が見込まれる高速5G通信・半導体・次世代自動車・自然エネルギー分野・建材、化粧品、介護食、特殊素材を用いたアパレル等への差別化した製商品の拡販、新規顧客の開拓、バイオマテリアルを含めた国内外の産学連携の加速に注力しつつ、顧客に密着した生産・物流体制の更なる改善にも取り組んでまいりました。

特に、当社グループの主力である高機能樹脂製品は、自動車生産の回復に伴い、自動車部品業界向け製品の販売が好調に推移する中、ハイブリッド車・EV関連部品向け樹脂製品の販売も国内外で伸長しました。付加価値の高い高機能樹脂製品の販売が伸長したこと等で、営業利益

は前年度を大きく上回りました。また、製紙業界向けの販売では、差別化製商品の拡販と周辺市場の開拓に注力し、食品業界向けの販売では、新規商材の発掘や市場の開拓に加え、新規複合食品素材の開発に取り組む等、それぞれが当社グループの業績に寄与できるよう、努めてまいりました。

当社グループは、事業の重点化と他社との差別化を重要な戦略と位置づけ、引き続きグローバルな視野に立って将来的に成長が期待できる事業分野と市場に経営資源を重点的に集中させ、ビジネスの強化と事業領域の拡大に向けて当社グループの総力を結集することで、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、努力を重ねてまいります。

**経営理念**

当社は積極的なビジネス展開を進め  
常に知恵を生かしながら  
「お客様にとってなくてはならない」存在として  
付加価値の高い製品 サービスを提供し また  
地球環境の保全を重要な使命の一つであると認識し  
真に社会に貢献できる企業となることを目指しています

**SOMAR's Mission Statement**  
Driven by the desire to make valuable contributions to society, we leverage our business acumen to provide high value-added products, goods and services as an indispensable partner who recognizes the importance of protecting the environment.

SOMAR Corporation



社会が求める価値観の多様化・細分化が進む中、「知恵を生かす」という経営理念のもと、社会に役立つ新たな製品や技術の創出に努めつつ、地球環境の保全や、人々の安全・安心と豊かさに繋がる次世代技術にも果敢に挑戦し、企業価値の向上、適正な株主還元に取り組んでまいります。

## ◆ 事業の内容

### 【メーカーと商社2つの顔を持つソマル】

企業が課題とするテーマが高度化・複雑化していく中、多様化する社会のニーズに応えるため、当社は「メーカー機能」と「商社機能」を併せ持つ企業として、相互の機能を有効に活用し、お客様がかかえる課題の解決に向けて、適切な提案ができるよう努めております。

今後も、お客様とともに課題を解決していく良きパートナーとして日々精進してまいります。



### 【事業セグメント】

	<b>高機能材料事業</b>	主な製商品：コーティング製品、高機能樹脂製品、電子材料、機能性樹脂等
売上高：	19,346 百万円 (前年比 9.1%増)	スマートフォン向け電子部品製造用途は、需要の一巡や市場停滞により販売が減少したものの、自動車部品業界向け製商品の販売は、半導体不足の緩和による自動車生産の回復や、ハイブリッド車・EV関連部品向け樹脂製商品の販売が国内外で伸長したことにより前年度を大きく上回った結果、売上高・営業利益が増加しました。
営業利益：	1,687 百万円 (前年比 133.9%増)	
	<b>環境材料事業</b>	主な製商品：工業用殺菌剤、防腐剤、防カビ剤等
売上高：	4,663 百万円 (前年比 2.0%減)	主要な販売先である製紙業界の厳しい事業環境下、底堅い需要が見込まれる板紙分野への拡販や新規開拓に取り組んだものの、商品販売では塗工紙の減産の影響を受け販売数量が減少したこと等により、売上高は減少しましたが、利幅が大きい製品売上比率が上昇したこと等により営業利益は増加しました。
営業利益：	204 百万円 (前年比 18.6%増)	
	<b>食品材料事業</b>	主な製商品：増粘安定剤（グァーガム等）、乾燥野菜、香料等
売上高：	2,539 百万円 (前年比 3.9%増)	取扱商品の市場価格が高騰する中、増粘安定剤は需要の不透明感の高まりや需給環境の変動等により需要が落ち込み取引数量が減少したものの、乾燥野菜は安定した需要や新規顧客への販売等により、売上高・営業利益が増加しました。
営業利益：	167 百万円 (前年比 16.9%増)	

## ◆ 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(千円)

科目	前連結会計年度 2023年3月31日現在	当連結会計年度 2024年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	17,560,915	19,455,604
固定資産	6,133,747	7,404,267
有形固定資産	3,062,983	3,242,672
無形固定資産	114,663	115,922
投資その他の資産	2,956,100	4,045,671
資産合計	23,694,663	26,859,871
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	4,648,356	5,183,113
固定負債	4,262,421	4,422,541
長期借入金	4,000,000	4,000,000
資産除去債務	64,292	64,461
繰延税金負債	156,396	314,889
退職給付に係る負債	4,762	5,688
その他	36,970	37,502
負債合計	8,910,777	9,605,655
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	12,662,788	13,935,796
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,473,939	4,473,939
利益剰余金	3,132,052	4,406,235
自己株式	△58,427	△59,602
その他の包括利益累計額	2,116,332	3,318,419
非支配株主持分	4,765	-
純資産合計	14,783,885	17,254,215
負債純資産合計	23,694,663	26,859,871

### 連結損益計算書

(千円)

科目	前連結会計期間 2022年4月1日～ 2023年3月31日	当連結会計期間 2023年4月1日～ 2024年3月31日
売上高	25,059,933	26,649,900
売上原価	20,834,485	21,125,677
売上総利益	4,225,448	5,524,222
販売費及び一般管理費	3,429,194	3,726,959
営業利益	796,253	1,797,263
営業外収益	143,659	168,710
営業外費用	53,457	57,759
経常利益	886,455	1,908,214
特別利益	171,676	3,174
特別損失	203,474	*380,321
税金等調整前当期純利益	854,656	1,531,068
法人税等合計	243,839	160,235
当期純利益	610,817	1,370,832
非支配株主に帰属する 当期純損失(△)	△234	△224
親会社株主に帰属する 当期純利益	611,052	1,371,057

\* 当連結会計期間の特別損失には、「退職給付制度改定損 320,232千円」が含まれております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(千円)

科目	前連結会計期間 2022年4月1日～ 2023年3月31日	当連結会計期間 2023年4月1日～ 2024年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△381,896	2,303,126
投資活動による キャッシュ・フロー	△145,789	△995,564
財務活動による キャッシュ・フロー	452,390	△99,713
現金及び現金同等物に 係る換算差額	240,727	269,362
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	165,431	1,477,212
現金及び現金同等物の 期首残高	4,701,019	4,866,451
現金及び現金同等物の 期末残高	4,866,451	6,343,663

## ◆ 株主の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数 6,000,000株

発行済株式の総数 1,958,734株

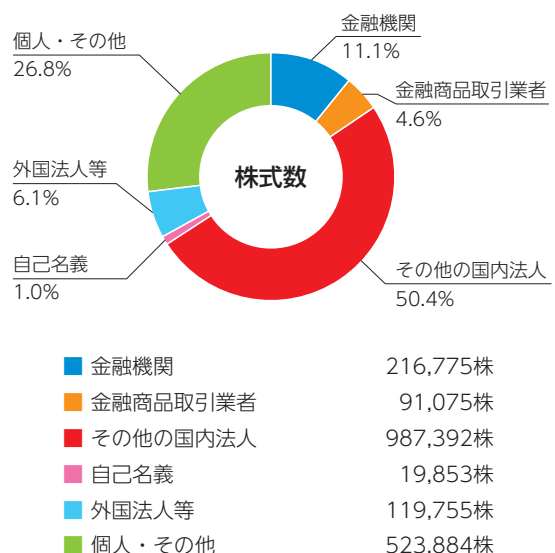
株主数 1,419名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ナガツタコーポレーション	638	32.9
多摩興産株式会社	237	12.3
株式会社三井住友銀行	89	4.6
有限会社龍和	57	2.9
三菱UFJ信託銀行株式会社	47	2.5
INTERACTIVE BROKERS LLC	42	2.2
株式会社三菱UFJ銀行	42	2.2
秋元利規	40	2.1
ソマール従業員持株会	31	1.6
株式会社SBI証券	22	1.2

(注) 持株比率は自己株式(19,853株)を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



## ◆ 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	ソマール株式会社
英文商号	SOMAR CORPORATION
設立	1948年2月26日
資本金	5,115,224,639円
発行済株式数	1,958,734株
従業員	連結 464名 単体 329名

## ◆ 役員 (2024年6月26日現在)

代表取締役社長	曾谷 正樹
取締役	小林 次久
取締役	牛尾 成幸
取締役	関口 幸
取締役	三村 慎昇
取締役	坂本 之彦
取締役	春日 孝俊
常勤監査役	今井 原晴
監査役	亀山 史
監査役	中島 玲

(注) 1.取締役坂本昇氏及び取締役春日孝之氏は、社外取締役であります。  
2.監査役亀山晴信氏及び監査役中島玲氏は、社外監査役であります。

## ◆ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所 電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="https://www.somar.co.jp">https://www.somar.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ◆ ホームページのご案内

当社は、株主・投資家の皆様及び一般の方々に当社の事業活動についてご理解いただくため、ホームページ内で、事業活動、製品情報、CSR関係情報等の様々な情報を掲載しております。

当社ホームページアドレスは次のとおりです。

<https://www.somar.co.jp>

